



※「ガッチャンコ」とは…  
「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。  
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい  
という願いがこめられています。

**Press Release**

**HBC 北海道放送株式会社**

2021年5月6日



**5月最初の試合は、今季初のサヨナラ勝ち！**

**radiko Stream数10,000超えを記録!!**

ゴールデンウィーク真ただ中の試合となった5/1（土）の「HBCサタデーファイターズ」では、ファイターズの劇的なサヨナラ勝ちの瞬間をお送りした17時台にradikoのストリーム数が今シーズン初めて10,000超えを達成しました！

3連戦初戦を落として迎えたこの試合、ファイターズの先発は上沢投手。自らのワイルドピッチやスクイズなどで2点を失うものの、7回を被安打3で投げ切り、先発投手としての責任を十分果たしました。打線は4回裏、「直球破壊王子」渡邊選手が本領を発揮。内角ストレートをレフトに同点タイムリー！しかし、その後、5回から8回までは三者凡退が続く一方、ライオンズが8回・9回と追加点を加え、3点差で迎えた9回裏に、劇的なドラマが待っていました。

この回先頭の平沼選手がヒットで出塁し、続く中田選手が、この日解説の岩本勉さん曰く「今シーズン両リーグ通じて一番の当たり」という会心のホームラン！一気に試合の流れが変わります。逆転への期待に、3,000前後だったストリーム数も、17:00～17:29に8,600超えまで急上昇！続く4番近藤がヒットで出塁すると、6番大田がレフトへ同点タイムリー2ベース！さらに石井・宇佐美が四球を選び2アウト満塁となったところで、この試合ノーヒットだった1番杉谷が、見事？押し出しフォアボールを選び、ファイターズとして今シーズン初のサヨナラ勝ちを収めました。その杉谷選手がお立ち台で「・・・なんかすいません！」と絶叫した瞬間をお送りした17:30～17:59台には、Stream数も一気に伸び、最終的に今シーズン初めて10,000を超え、最終的に**10,252**を記録しました。

プレイボールから試合終了までファイターズ戦を完全実況でお届けしているHBCラジオ。ファイターズファンが求めるドラマチックな勝利は、今シーズンもHBCラジオがリスナーのみなさんに変わらずお届けしていきます。まだまだ続くペナントレースの行方は、ぜひHBCラジオでお楽しみください！

◆お問い合わせ…HBC北海道放送ラジオ局編成業務部

電話 011-232-5851

